

「原子力安全推進協会」の設立について

2012年11月15日
電気事業連合会
会長 八木 誠

本日、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、シビアアクシデント対策を含む原子力発電所の安全性を一層向上させることを目的に、「原子力安全推進協会」が設立された。

原子力安全推進協会におかれては、独立した立場と強い指導力のもと、国内外の安全性向上に関する最新知見を収集・分析し、事業者の安全性向上活動を技術的に評価するとともに、提言や支援などを通じて事業者の活動を強く牽引していただけるものと期待している。

私ども事業者は、原子力安全推進協会の評価や提言・勧告を真摯に受け止め、各社社長の強い決意と覚悟のもとで安全性を高めるための取り組みを確実に実行してまいり所存である。

また、各社の安全上の様々な課題を個社のものとせず、業界全体でしっかりと受け止め、互いに切磋琢磨することで我が国の原子力安全のレベルアップを図ってまいりたい。

エネルギー自給率が低い我が国においては、エネルギー資源の多様性を確保し、S+3Eの達成を目指すことが、変わることのないエネルギー戦略であり、そのためには原子力発電を今後も重要な電源として活用していく必要があると考えているが、その大前提となるのが原子力安全の確保である。

言うまでもなく、原子力発電所の安全確保は私どもの使命である。私ども事業者としては、原子力規制委員会から今後新たに示される安全基準を確実にクリアしていくことはもとより、これまでの取り組みへの反省も踏まえ、「自らが改革を続ける」という強い覚悟で不断の努力を重ね、世界最高水準の安全性を目指していくことをお誓い申し上げます。

以 上